

葛電新聞

葛尾創生電力とは

葛尾創生電力は、平成30年10月に葛尾村と福島発電（福島県の第三セクター）が設立した電力会社です。

葛尾村の掲げる「エコ・コンパクトビレッジ」の実現を目指し、電気の地産地消に取り組んでいます。葛尾村内の太陽光発電所で発電する電気を村内の対象エリアに供給するスマートコミュニティ事業、対象エリア外や、村外にも電気を販売する小売電気事業、周辺地域の再生可能エネルギー施設の保守管理事業の3つの事業が柱となっています。

工事の状況と今後のスケジュール

今年度分のスマートコミュニティ事業の工事は全て終了いたしました。
合計で65本の電柱を建設しました。

また、葛尾村役場と復興交流館あぜりあ、せせらぎ荘の敷地内に自立型照明（街灯）と、電気自動車の充放電器を設置しました。2月には電気自動車（EV）2台が納車され、今後村内交通に活用されます。

来年度の工事は4月から開始する予定です。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



EV充放電器【葛尾村復興交流館あぜりあ】

No.3
令和2年3月号

葛電新聞は葛尾創生電力が発行する広報紙です。葛尾創生電力と電気契約をされるご予約のお客様に配付させていただいております。

《葛尾村スマートコミュニティ事業 工事工程表》

設備名称	2020年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
太陽光発電設備												
蓄電池設備												
受変電設備												
配電線												
電力切替												
EV充放電器												
自立型照明												

■ 設備工事 ■ 試験調整



※スケジュールは変更になる場合があります。ご了承ください。
※電力切替工事に伴い、8月より随時スマートメーターを設置いたします。（事前にお知らせいたします。）

今月のトピック

EVについて

スマートコミュニティ事業の一環として葛尾村にEVを2台導入しました。導入したEVは、「日産リーフ」で、バッテリーの容量は40kWhと62kWhがそれぞれ1台ずつ。62kWh車はフル充電で最長570kmの走行が可能です。搭載されているバッテリーは専用のパワームーバー（給電器）を使用すれば電源としても利用できます。昨年のかつらお感謝祭では、リーフから給電して温めた「EVおでん」を販売しました。このように、車を駐められる場所さえあればどこへでも電気を運ぶことができるのがリーフの大きな魅力です。



EVおでんの販売【2019年かつらお感謝祭】

昨年9月の台風15号により、千葉県を中心に長期間にわたり停電が発生しましたが、その時に非常用電源として大活躍したのもこの日産リーフでした。葛尾村では、通常は村内交通として活用しますが、災害による停電時には、非常用電源として活用する予定です。困った時に私たちが助けられる電気自動車日産リーフは、まもなく村内を走り出します。



電気の切り替えに関する疑問などは下記までお問い合わせください。また、葛尾創生電力は葛尾村の皆様の暮らしがより良くなるためのサポートをしたいと考えています。生活の中での困りごとや、こんなことがしてみたい！というアイデアがあれば、ぜひお気軽にご連絡ください。

KATSU-DEN
葛尾創生電力株式会社
KATSURAO ELECTRIC POWER

葛尾創生電力
〒979-1602
葛尾村大字落合字菅ノ又14-4

TEL 0240-23-4312
FAX 0240-23-4302
MAIL info@katsuden-co.jp